

6月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆6月13日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆6月15日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



シングルマザーの会

◆6月23日(日) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



男女共同参画のキーワード

<防災分野における女性の参画拡大に向けて>

令和6年2月に、地方防災会議等の防災の意思決定過程や災害対応の現場における女性の参画促進に向けて、委員の登用や庁内職員の配置に決定権を持つ自治体の首長や管理職を対象に、男女共同参画の視点からの防災についての理解を深めることを目的にオンラインシンポジウムが開催されました。

(第一部基調講演)
 片山善博大正大学地域構想研究所長

鳥取県の総務部長在任当時、管理職のほとんどが男という「いびつさ」に違和感を覚え、個人の資質や意欲と関係のない「作られた能力差」をなくすため、女性職員にも様々な部署での業務経験を可能にする人事を行った結果、女性管理職が増えたという事例について話しました。自身が男女共同参画の重要性を認識した背景として、一つは、自分の娘が社会に出た時に「女性だから」という理由で補助的な役割を担わされるという無念さを味わってほしくないこと、二つ目は、管理職への女性の登用の遅れは、組織にとっての損失であり、組織内のジェンダーギャップをなくし、個人の能力を発揮できるようにすることが生産性の向上にもつながると述べました。

つながりタイム



◆6月16日(日) 9:30~11:30*次回は8月24日(土)
 自分自身・家庭・子どものことなどで悩んでいる方。
 聞いてほしいこと、教えてほしいことなどを話してみませんか。
 *臨床心理士の個別相談要予約
 参加費: 無料 託児: あり。1週間前に要予約

女性のための就労支援講座



「メンタルヘルスについて」
 ◆7月17日(水) 10:30~12:00
 講師: 岡田 恵子(キャリアコンサルタント、参画センター相談員)
 参加費: 無料 定員: 10人程度
 託児: あり、無料、1週間前までに要予約
 (生後6か月~就学前の子ども)



写真募集中!

開催日: 男女共同参画週間 6月23日~29日
 募集内容: 男女共同参画にちなんだ写真
 募集期間: 6月1日~16日まで
 *応募者には、参画センターのコーヒー券を差し上げます。

知ってる?



鳥取県知事在任中には、県の男女共同参画推進条例に基づく男女共同参画計画で、審議会等の構成員の割合が定められ、どちらかの性別が4割を下回らないように運用されており、防災会議においては、いざというときの準備や計画の策定が重要であり、意思決定の場には多様な意見や生活者の視点が必要であるとの認識のもと、県独自の取組として保育園や障害者団体の代表等から女性委員を積極的に登用したことを紹介しました。

所長はまた、県庁職員に対して地域社会での一人一役を推奨したところ、職員が生活者の視点を持ち、地域の課題を自分事として捉えることができるようになった結果、県政を運営する上でも大きな力になったという経験から、組織の中で男女共同参画を進めると同時に、男女にかかわらず一人ひとりが生活者の視点を持つことが重要であると述べました。

第2部はパネルディスカッションで、静岡大学池田恵子教授、末松則子三重県鈴鹿市長、伊勢久美子群馬県渋川市副市長、政府拓哉大阪府泉大津市危機管理監などから取り組みの事例が報告されました。

(資料: 内閣府 共同参画5月号)

5月の行事から



5/16

転勤者とさぬき人のはじめまして講座 仏生山公園の周辺を散策しよう!

場所: 仏生山公園 参加者: 5人
 仏生山町のお成り街道を通り、法然寺、仏生山公園、仏生山の森など、今、注目されている場所を散策し、転勤者の方と地元の方が色々な情報交換をした。転勤者の方は、高松の丸亀町通りやフェリー通り等を見て、思っていたより都会だと感じたそう。初めて食べたさぬきうどんの安さと美味しさに驚いていた。



5/23

こころとからだの健康講座 あらぐ楽しむ ヨーガ

場所: 学習研修室1・2・3 参加者: 24人
 講師: 萩原涼さん(日本ヨーガ道友協会会長)
 (参加者の感想)
 「ゆったりとしたペースでよかったです」
 「リラックスできて良かったです」
 「血液、酸素の話を聞いて良かったです」
 「自律神経の乱れを感じていて、体がポカポカして、心も体も軽くなるのを感じました」等。



5/20

女性のための就労支援講座 働くうえで知っておきたい労働法の基礎知識

場所: 学習研修室2 参加者: 6人
 講師: 森井久美子(キャリアコンサルタント・参画センター相談員)
 労働契約と労働法について、有給休暇について、ハラスメントの理解等、働く上での基礎知識を学んだ。
 (参加者の感想)
 「普段、労働法を意識せず働いていたので、全てが学びだった。実践的な内容を教えてくださり、良かった」
 「一緒にサイトにアクセスしてみて、身近に思えた」
 「有休について知らないことがいっぱいあったので、勉強になった」「ポイントを絞って説明してくれた」等。

5/23

さんかく交流サロン 切り絵を作ってみよう!

場所: 学習研修室2 参加者: 4人
 講師: 槇野次郎さん
 今回は、切り絵の基礎を教えてもらった。デザインはチュウリップ。バックにそれぞれ好きな色を置いたので、同じデザインでも、個性が出て違った切り絵に見えた。
 (参加者の感想)
 「色付けするのに迷いましたが、そこが楽しかったです」
 「久しぶりに細かい作業で、集中して楽しかったし、満足できる作品ができました」等。



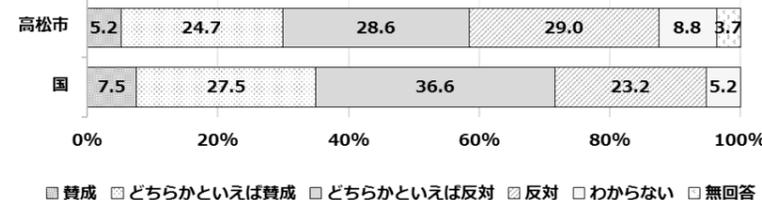
トピックス

だれもがいきいきと自分らしく生きる 男女共同参画社会の実現をめざして

●男は仕事、女は家庭?

男女共同参画の実現を阻害する大きな要因の一つとして、人々の意識の中に長い時間をかけて形成されてきた「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識があります。

令和元年度に本市が実施した「高松市男女共同参画に関する意識調査」では、この考えに賛成とする人の割合は29.9%となり、前回調査(平成26年度)より5.2ポイント減少しており、固定的な性別役割分担意識は、徐々に解消に向かっているとと言えます。



資料: 第5次たかまつ男女共同参画プラン

高松市・女性活躍の意識と現状について

●政策・方針決定過程への女性の参画拡大に向けて

女性は人口の半分、労働力人口の4割余りを占め、政治、経済、社会などあらゆる分野の活動を担っています。しかし政策・方針決定過程への女性の参画は、男性に比べて少ないのが現状です。

そこで高松市では取組の一つとして、審議会等の委員への女性の登用拡大を推進しています。令和8年度までに44%にする目標を掲げ、令和4年度の女性委員登用率は、38.9%となりました。

